

# グランドデザイン構想（素案）

## 都市のグランドデザイン

区民参加と協働のグランドデザイン

暮らしのグランドデザイン

平成29年（2017年）12月

練馬区

202×年 秋

働きながら2人の娘を育てる30代女性

私は7歳と3歳の娘を育てる母親だ。夫や娘たちと忙しい日々を送っている。

### ひとりじゃない、だから頑張れた

上の娘が生まれたとき、勤めていた会社に復職するか悩んだが、しばらく子育てに専念するため、会社は辞めることにした。

当時は夫も残業が多く、子どもと2人きりで心身ともにつらかった。そんなとき、区の産後ケアサービスを使って、助産院でゆっくり休むことができた。それに、近所に子育てのひろばがあったおかげで、育児の悩みを打ち明けることもできた。

そんな娘も今では小学生。放課後も学校で友達と楽しく過ごしている。

### 娘が楽しそう、それってしあわせ

数か月前、経理の経験を活かして再就職した。子どもの将来を考えると、お金が必要になる。久しぶりの仕事で戸惑うことも多いが毎日頑張っている。

仕事を終え、保育園に下の娘を迎えに行くと、園庭で友達とかけっこをしていた。私と目が合い、一目散で駆け寄ってくる。  
『ママ！』

『いっぱい遊んだ？』

『今日ね、ママを描いたんだ！』

小さな手を取り、覚えだての童謡と一緒に歌いながら帰る。クレヨンで描かれた私は笑顔だった。また一つ、宝物が増えた。

### 「保活」なんてむかしのこと

保育園を探すことを「保活」と呼んだ時期もあったが、今はそんな言葉も聞かない。下の娘を預けるときも、大きな苦労はなかった。

子育てと仕事の両立は大変なこともあるが、いろんな子育てサービス、そして娘の笑顔に支えられている。

来週は月末で忙しいので、娘の迎えは夫と調整してみよう。



## GRAND DESIGN episode 1

# 安心して子育てでできる、子どもがいきいきと暮らせる

## 子育てのかたちを選択できる社会の実現

3世代同居が珍しくなかった昔、祖父母や地域の協力を得ながら、家庭で子育てを行うことは当然であるという価値観がありました。しかし、高度成長期以降、核家族化や女性の社会進出が進むなか、子育ては社会全体で取り組む事業であるとの意識が広まっています。

子育ては誰が担うべきか、様々な考え方や価値観が存在しますが、最も尊重されるべきことは、それぞれの家庭の思いです。

家庭で子育てがしたい。子どもを預けて働きたい。様々なニーズを持つ保護者に応じた社会的サービスを提供することで、子育てのかたちを選択できる社会の実現を目指します。



### ねりまの未来に向けて

- 妊娠期から子育て期まで、切れ目ないサポートを行います。
- 家庭で子育てをすすめる保護者への支援を充実させます。
- 保育サービスを更に充実し、保育所待機児童を解消します。
- 子どもたちが健やかに成長できるよう、教育を充実させます。
- すべての小学生を対象に放課後の居場所をつくります。
- 児童相談体制を更に強化します。



# 暮らしのグランドデザイン

暮らしのグランドデザインでは、子ども、高齢者、文化芸術、みどりなど、8つのテーマを設定しました。

10年後の暮らしの姿を、8人の「区民の物語」として描いています。希望、喜び、悩み、葛藤、さまざまな状況にありながらも、前を向いて努力している区民が主人公です。

あわせて、テーマに対する「区の基本姿勢」と「取組の方向性」をお示ししています。未来のあるべき姿について、区民の皆さまと区が共に考え、区民参加と協働のもと、課題の解決に取り組んでいきます。

## グランドデザイン構想

練馬の発展には、区民参加と協働を根幹に据えた、「暮らし」と「都市」の両面のインフラ整備が必要  
おおむね10年後から30年後の将来像を「暮らし」「都市」「区民参加と協働」の3つの分野で示す

### 都市

区民の暮らしの  
舞台である「まち」  
の目指す姿を示す

### 暮らし

区民が安心して心豊かに  
生活する「暮らし」  
の目指す姿を示す

### 区民参加と協働

「区民参加と協働」  
の目指す姿を示す

目指す将来像を区民と共有し、  
未来の練馬をつくっていく

「暮らし」のグランドデザイン	・・・ 2	右開き
「区民参加と協働」のグランドデザイン	・・・ 31	左開き
「都市」のグランドデザイン	・・・ 57	左開き

この冊子は左右両開きの形式をとっています。

## グランドデザイン構想について

区はこれまで、区政の羅針盤である「みどりの風吹くまちビジョン」を策定し、区独自の政策を立案・実行してきました。また、「区政改革計画」をとりまとめ、新たな区政の創造に向けた取組を展開しています。

区政を更に前に進めるためには、目指す将来像を区民の皆さまと共有しながら、様々な課題に取り組むことが不可欠です。そこで、おおむね10年後から30年後の将来像を、「暮らし」、「都市」、「区民参加と協働」の3つの分野からなるグランドデザイン構想としてお示しします。

練馬の発展には、区民参加と協働を根幹に据えて、「暮らし」と「都市」の両面のインフラ整備に取り組むことが必要です。区内では、町会・自治会のお祭り、商店会のイベントやまちゼミ、住民による植樹、ねりマルシエ、街かどケアカフェなど、地域に根差した区民の自発的活動が行われています。

「暮らし」、「都市」のグランドデザインが目指す将来像の実現には「区民参加と協働」を欠かすことができません。

グランドデザイン構想は、「みどりの風吹くまちビジョン」の延長線にあるものです。いわゆる行政計画ではないため、全ての施策を網羅するものではありません。

ここに示す将来像の実現に向けた具体的な取組や事業、財政フレームは、今後必要に応じて、「みどりの風吹くまちビジョン」「アクションプラン」を改定しながら、順次、明らかにしていきます。

今後、未来の練馬に望むことや取り組むべき課題など、区民の皆さまからご意見・ご提案を募集し、平成30年度中に成案化する予定です。目指す将来像を区民の皆さまと共有し、未来の練馬をつくっていきます。

グランドデザイン構想の検討にあたっては、区政改革推進会議、都市のグランドデザイン有識者委員会、区民協働のあり方検討会議をはじめ、関係団体、区民の皆さまのご意見を頂きました。厚く御礼申し上げます。

# グラウンドデザイン構想（素案）

## 暮らしのグラウンドデザイン

区民参加と協働のグラウンドデザイン  
都市のグラウンドデザイン

（抄）

平成29年（2017年）12月

練馬区